

## C.S.採血は可能なのか？

～中枢側からの採血の試み～

◎鈴木 聖矢<sup>1)</sup>  
静岡済生会総合病院<sup>1)</sup>

【背景】病院の臨床検査技師として外来採血に携わっていると、まれに肘関節に対して血管が平行に走行しているケースを見ることがある。その場合、血管の中枢側・末梢側の区別が不明となるため、自分はその血管での採血は回避することが多い。普段の採血時は末梢側から刺入することが一般的であるが、中枢側から刺しても採血を行うことができるのか検証するため、今回の研究に取り組んだ。

【目的】本研究の目的は、血管の中枢側から末梢側に針を刺した場合、採血が可能であるかを検証することである。それにより、中枢側・末梢側の区別が不明な血管に対して臆することなく採血することが可能となる。

【方法】被採血協力者5名（20～50代の健常者）に対し、上腕中間に駆血帯を巻き、22Gの翼状針を用いて前腕肘窩の太い静脈の中枢側から末梢側に刺入し、採血が可能であるか（逆血の有無・真空採血管への流入状況等）を検討することとした。

【結果】被採血協力者5名中5名全員、中枢側から末梢側に刺入して、橈側皮静脈・肘正中皮静脈・尺側皮静脈のいずれからでも滞りなく採血することが可能であった。

【考察】通常の採血手技と同様、駆血帯によりうっ血状態になっている部分から採血を行っているため、刺入方向の違いに関係なく採血が行えたと考えられる。

【結語】本研究では、血管の中枢側から末梢側に針を刺した場合、採血が可能であるかを検証することを目的とした。その結果、前腕肘窩の太い静脈であれば可能という結果を得られ、血管の中枢側・末梢側が不明な場合、どちらの方向から刺入しても採血可能であることが証明された。

静岡済生会総合病院臨床検査科 鈴木聖矢  
〒422-8527 静岡県静岡市駿河区小鹿1丁目1-1  
e-mail : [s173134@siz.saiseikai.or.jp](mailto:s173134@siz.saiseikai.or.jp)  
TEL : 054-285-6171（内線：2171）